

株式会社野州たかむら

栃木県芳賀郡茂木町

需要獲得
ものづくり

飴づくり一筋の企業が地域経済の活性化や雇用の創出に大きく貢献

1975年の創業以来、飴づくり一筋で歩んできた企業。粒キャンディや棒付キャンディの他、地域の農産物を活用したキャンディの開発も手掛ける等、多種多様なキャンディの企画・製造・販売を行う。かつてはOEMがメインであったが、現在では、自社ブランドを立ち上げ、首都圏に店舗兼情報発信拠点を開設。今年3月、栃木県から、県内経済において重要な役割を持つ企業として表彰(キラリと光るとちぎの企業)される等、地域経済の活性化や雇用の創出に大きく貢献している。

所在地 栃木県芳賀郡茂木町茂木181-1
電話/FAX 0285-63-1730
URL <https://www.yashu-takamura.co.jp/>
代表者 代表取締役 小崎 和江

設立 1975年
資本金 2,000万円
従業員数 24人



都内に店舗兼情報発信拠点を開設

2018年に東京・渋谷にマーケティング・営業拠点となる店舗兼事務所を開設し、国内外への販路開拓、情報発信を進めている。当店舗では、デザインに特徴のあるキャンディが中心に販売されていたり、キャンディの自動販売機風のドアの設置等、インスタグラムなどのSNSにおける広がり意識したマーケティングを行い、若者や外国人を中心に人気を集めている。



入口の自動販売機風のドア

県内農産物を活用したキャンディの開発・販売

商品は安全・安心・おいしい+αをコンセプトとした商品づくりを徹底している。自社ブランド第1号商品の「どうぶつべっこう飴」シリーズは、職人の技で作るあげ看板商品である。+αとして、見た目も可愛く、年齢を問わず好評の商品になっている。2016年に地域名産品のいちご、ゆず、ブルーベリー等を使用し、素材そのものの美味しさを活かし、味のバリエーションが豊富なキャンディ開発で地域資源活用事業計画の認定を受けた。パッケージにもこだわり、地元名物のSLがモチーフとなっている。道の駅等でも販売されており、人気商品の一つとなっている。



県内農産物を活用した看板商品

地元事業者と連携した商品開発

キャンディ製造のノウハウを活用し、地域の事業者と連携した商品開発を実施、販売強化を進めている。地元農家が栽培しているフルーツを使用したキャンディのほか、栃木県産のハーブを使った新感覚キャンディ、牧場と連携したミルクジャムキャンディなどを開発。今後はギフト商品市場の開拓を目指したり、自社商品アイテムを増やし、地域内外での認知度を高め、地域社会の活性化に貢献していく。



地元事業者と連携して開発した商品

需要獲得

ものづくり